

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒212-0014
 住 所 川崎市幸区大宮町1310番
 氏 名 川崎化成工業株式会社
 代表取締役社長 豊澤 幸平 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎化成工業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町1番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	有機酸製品、有機酸系誘導品、キノン系製品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	13,992	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度～平成30年度 (報告年度29年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 26,606 t-CO ₂ (調) 26,269 t-CO ₂	(実) 27,553 t-CO ₂ (調) 27,230 t-CO ₂	(実) 28,036 t-CO ₂ (調) 27,721 t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 26,015 t-CO ₂ (調) t-CO ₂
削減率		(実) -3.6 % (調) -3.7 %	(実) -5.4 % (調) -5.5 %	(実) % (調) %	(実) 2.2 % (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.2332	0.2322	0.2562		0.2297
削減率		0.4 %	-9.9 %	%	1.5 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	ポンプ・照明及び運転条件改善等の省エネにより電力使用量を削減した。しかし主要製品製造工程で低負荷運転を強いられる期間があり、この間熱回収による蒸気発生量が減り燃料使用量が増加した。その結果、温室効果ガス排出量は増加したが、排出量原単位は生産量の関係でほぼ計画(年0.5%)通り向上した。
第2年度	設備改善等による省エネルギーで電力削減を実施した。しかし12月に最大の熱回収設備を有する工程にトラブルが発生し、プラント停止及び低負荷稼働を強いられる期間があった。この間回収熱量が減り燃料使用量が増加したために温室効果ガス排出量は増加し、排出量原単位が大幅に悪化した。現在は当該トラブルの影響は無くなっている。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○電動機器の省エネ ○照明設備の省エネ ○蒸気の有効活用 ○蒸気使用機器の保温を改善 ○省エネルギー委員会の活動推進 ○オフィスにおける省エネ活動の推進
	第 1 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○電動機器の省エネ <ul style="list-style-type: none"> ・プラントの制御及び運転条件改善によりブロワー電力を28kW削減した。 ・適正能力のポンプに更新し電力を4kW削減した。 ○照明設備の省エネ <ul style="list-style-type: none"> ・照明設備更新時に高効率式 (LED) を採用し電力を4kW削減した。(97台) ○蒸気の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気制御方法を改善し電力、燃料消費を削減した。 ○不良蒸気トラップの更新・整備、保温不良の更新を実施した。 ○オフィスにおける省エネ活動の要請を実施した。
	第 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○電動機器の省エネ <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ更新・インペラカット・運転方法見直しにより電力を31kW削減した。 ○照明設備の省エネ <ul style="list-style-type: none"> ・照明設備更新時に高効率式 (LED) を採用し電力を2kW削減した。(33台) ○蒸気の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気制御方法を改善し電力、燃料消費を削減した。 ○不良蒸気トラップの更新・整備、保温不良の更新を実施した。 ○省エネパトロール実施により課題を抽出した。 ○オフィスにおける省エネ活動の要請を実施した。
	第 3 年度	
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">○廃棄物の分別を徹底する。○従業員の通勤は極力、公共交通機関を利用する。○クールビズを実践する。○夏季の省エネルギー対策を社内に周知する。○川崎市主催事業活動省エネルギー・節電対策セミナーへ参加する。
第1年度	<ul style="list-style-type: none">○廃棄物の分別を徹底した。○従業員の通勤は極力、公共交通機関を利用した。○クールビズを実践した。○夏季の省エネルギー対策を社内に周知した。○川崎市主催事業活動省エネルギー・節電対策セミナーへ参加した。
第2年度	<ul style="list-style-type: none">○廃棄物の分別を徹底した。○従業員の通勤は極力、公共交通機関を利用した。○クールビズを実践した。○夏季の省エネルギー対策を社内に周知した。○川崎市主催事業活動省エネルギー・節電対策セミナーへ参加した。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	27,315	t-CO ₂
(調)	26,197	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場（千鳥）	川崎市川崎区千鳥町1番2号	1634	環式中間物・合成染料・有機顔料製造業	27,274 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	2

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--